

つくるう大崎



町長
東 靖弘

迎春

新年あけまして
おめでとうござい
ます。

皆様方におかれましては、輝かしい希望に満ち溢れた新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から町政に対する暖かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は、昨年末の町長選挙におきましては、町民の皆様のおかげで支援を賜り、引き続き町政を担当させていただくこととなり、皆様の期待の重さを改めて実感し、その責務の重大さを肝に銘じたところでございます。

さて、昨年を振り返りますと、長引く景気低迷の影響から『内定取り消し』や『派遣切り』などの雇用情勢の低迷、『貧困率』の増加に見られる所得環境の悪化、個人消費の冷え込みなど、将来に向けた明るい展望がなかなか開けない状況であったように思います。

そこで、国においては『生活対策臨時交付金』や『経済危機対策臨時交付金』などの景気浮揚に向けた対策を連続して行い、本町もこの交付金を活用した施策を実施して参りましたが、一定の成果はあったものの、根本的な問題解決には至っていない状況ではないかと思われまます。

また、8月末に実施された衆議院議員選挙において、『国民主権』『地域主権』を掲げた民主党が歴史的な大勝を収め、民主党・社民党・国民新党が連立政権を樹立し政権